

第15集 おしゃべり練習ワーク

ことばのテーブル100枚プリント:第15集「おしゃべり練習ワーク」をお買い上げありがとうございました。このプリント集は、100枚プリント第5集「会話練習ワーク」の前段階にお使いいただく教材として、作成したものです。「会話練習ワーク」に比べ、平易な短いやりとりで、構成されています。人物のセリフを読み合う、ロールプレイ(役割練習)を通して、日常会話表現を練習します。ひらがな単文レベルでの音読が、成立しはじめた子どもの会話・音読練習教材としてお使いいただけます。

【構成】 ※テキスト目次参照

- 二人の人物によって交わされる対話(ダイアログ)で構成されています。
- 全部で100のダイアログで、構成されています。(全100ページ)
- テキストの並びは、難易度順ではありません。自由に練習ページをお選びください。

【使い方】

- ①吹き出しで示された、二人の登場人物のセリフを、役割を決めて、読み合います。
- ②つぎに、人物の役割を交代して、セリフを読みます。 ※セリフを暗記してロールプレイすることもできます。

【対象】 この教材を実施するためには、お子さんに以下の能力が必要です。

①セリフの音読に関して

特殊表記も含め、ひらがな単語～単文レベルの音読能力が必要です。

※カタカナ・漢字には、すべてルビが振られています。



②ロールプレイの理解に関して

パート読み(自分の役のセリフのみを読む)という形式の理解が必要です。ワーク開始時、パート読みが理解できず、相手のセリフまで全部読んでしまう子どもが多く見られます。練習を通して、会話におけるターン・テイキング(話者交替)や、役割理解を育てて行くことも、教材の目的のひとつです。

【この教材の目的】

- ◆日常会話表現の練習:会話で用いられる様々な問いかけや応答を練習します。
- ◆他者的視点の育成:ロールプレイを通して、役割の理解や、他者的視点の形成を促します。
- ◆協調的行動の練習:音読の適切なタイミングなど、相手と協調したやりとりを練習します。
- ◆かな文字音読の練習:セリフの音読を通して、かな文字の読みを練習します。
- ◆会話プロソディの練習:会話における抑揚やリズムを練習します。

【表記について】

- ・セリフは、ひらがな及びカタカナで表記されています。 ※カタカナや一部の数字にはルビがふられています。
- ・日常会話での音声に対応して、かな表記されています。(例:「もってる?」など)
- ・会話の抑揚や、間を表現するために、長音記号や「?」「!」「…」などが多用されています。

☆ことばのてーぶる100枚プリント について

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を家庭で行うホームワーク課題として使用しています。毎週の指導ごとに、プリントをお渡しして、次回までのホームワークとしています。そのような多くの繰り返し、大切だと思われるお子さんを対象に作られた教材集です。

※この教材の無断複写・転用はご遠慮ください。

※この教材に対するご意見・ご感想をお聞かせください。

●企画・製作 言語学習指導室 葛西ことばのテーブル

●著作者 三好純太 ○印刷 (株)コア

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 5-1-3 第6山秀ビル 301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: QYT07571@nifty.ne.jp

URL <http://homepage2.nifty.com/kotobanotable/>

郵便振替 00130-2-116343

★葛西ことばのテーブルは、言語障害や学習障害のお子さんや成人のかたのための指導室です。